

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月11日
【四半期会計期間】	第148期第2四半期(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)
【会社名】	株式会社石井鐵工所
【英訳名】	Ishii Iron Works Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石井 宏治
【本店の所在の場所】	東京都中央区月島三丁目26番11号
【電話番号】	03-4455-2503(ダイヤルイン)
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営管理部長 藤本 豊
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区月島三丁目26番11号
【電話番号】	03-4455-2503(ダイヤルイン)
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営管理部長 藤本 豊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第147期 第2四半期 連結累計期間	第148期 第2四半期 連結累計期間	第147期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	6,807,115	4,116,586	11,452,760
経常利益(千円)	334,450	606,117	1,098,662
四半期(当期)純利益(千円)	194,492	318,952	656,558
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	147,162	552,164	904,739
純資産額(千円)	7,977,934	9,102,983	8,735,474
総資産額(千円)	18,651,697	18,551,274	18,943,097
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.28	8.65	17.81
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	42.7	49.0	46.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	184,837	754,792	1,160,644
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	58,550	106,656	92,126
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	485,308	985,555	886,096
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	953,886	1,298,825	1,597,156

回次	第147期 第2四半期 連結会計期間	第148期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.12	6.38

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産が緩やかに増加し、輸出は動きが緩やかになっているものの持ち直し傾向にあり、設備投資についても、企業収益の改善から下げ止まるなど、景気は緩やかに回復しつつある状況で推移しました。

このような情勢の下で、当社グループは平成24年4月をスタートとする三ヶ年経営計画を策定し、長期的・持続的成長を目指して諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は41億16百万円（前年同四半期比39.5%減）、営業利益は4億74百万円（前年同四半期比12.1%増）、経常利益は為替差益の計上などにより6億6百万円（前年同四半期比81.2%増）、四半期純利益は3億18百万円（前年同四半期比64.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (鉄構事業)

受注高は、当社グループの主要顧客先の設備投資の下げ止まりに伴い、前年同四半期に比べ6億54百万円増加し、21億46百万円（前年同四半期比43.9%増）となりました。

売上高は、完成工事高が減少したことなどにより、35億18百万円（前年同四半期比42.9%減）となりましたが、営業利益は、コストダウンによる利益率の向上などにより、1億26百万円（前年同四半期比1億15百万円増）となりました。

#### (不動産事業)

売上高は、賃貸収入の減少により5億97百万円（前年同四半期比7.3%減）となり、営業利益は売上の減少などに伴い3億47百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

#### (2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億91百万円減少の185億51百万円となりました。これは、営業債権の減少などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億59百万円減少の94億48百万円となりました。これは、短期借入金や営業債務の減少などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億67百万円増加の91億2百万円となりました。これは、当期利益計上に伴う利益剰余金の増加や市場価格上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加などによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億98百万円減少し、12億98百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、7億54百万円（前年同四半期比5億69百万円増加）となりました。主な増加の内訳は、税金等調整前四半期純利益5億12百万円、売上債権の減少額8億71百万円、主な減少の内訳は、たな卸資産の増加額3億54百万円、法人税等の支払額1億74百万円、前渡金の増加額98百万円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億6百万円（前年同四半期比48百万円使用増）となりました。これは主として、固定資産取得による支出1億1百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、9億85百万円（前年同四半期比5億円使用増）となりました。これは、短期借入金の純減少額8億円、配当金の支払額1億84百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	37,840,000	37,840,000	東京証券取引所 市場第1部	単元株式数 1,000株
計	37,840,000	37,840,000		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		37,840,000		1,892,000		1,390,995

( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
富国生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町2丁目2番2号	3,653	9.65
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	2,616	6.91
石井鐵工所取引先持株会	東京都中央区月島3丁目26番11号	1,101	2.91
石井宏治	東京都渋谷区	1,001	2.64
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号	1,000	2.64
黒田康敬	北海道士別市	869	2.30
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	756	2.00
株式会社三重銀行	三重県四日市市西新地7番8号	702	1.86
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋1丁目9番1号	700	1.85
イヌイ倉庫株式会社	東京都中央区勝どき1丁目13番6号	691	1.83
計	-	13,090	34.59

(注) 上記の他、当社は自己株式972千株を所有しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 972,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 36,747,000	36,747	
単元未満株式	普通株式 121,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	37,840,000		
総株主の議決権		36,747	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社石井鐵工所	東京都中央区月島三丁目 26番11号	972,000		972,000	2.57
2【役員 <sup>計</sup> の状況】		972,000		972,000	2.57

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,597,156	1,298,825
受取手形及び売掛金(純額)	<sup>1</sup> 5,226,889	<sup>1</sup> 4,355,339
商品及び製品	30	129
仕掛品	775,392	1,130,203
原材料及び貯蔵品	3,906	3,273
その他	300,152	409,356
流動資産合計	7,903,528	7,197,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,812,177	6,680,900
土地	2,025,050	2,017,038
その他(純額)	29,456	133,546
有形固定資産合計	8,866,684	8,831,485
無形固定資産	49,571	50,669
投資その他の資産	<sup>1</sup> 2,123,313	<sup>1</sup> 2,471,992
固定資産合計	11,039,569	11,354,147
資産合計	18,943,097	18,551,274
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,103,430	2,027,054
短期借入金	2,500,000	1,700,000
未払法人税等	164,971	180,508
前受金	523,690	464,177
引当金	107,873	115,072
その他	113,484	174,900
流動負債合計	5,513,450	4,661,713
固定負債		
繰延税金負債	908,860	1,053,386
退職給付引当金	433,553	455,855
役員退職慰労引当金	202,380	203,540
長期預り保証金	3,149,379	3,073,795
固定負債合計	4,694,173	4,786,577
負債合計	10,207,623	9,448,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,892,000	1,892,000
資本剰余金	1,390,995	1,390,995
利益剰余金	5,254,431	5,389,039
自己株式	161,415	161,725
株主資本合計	8,376,011	8,510,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,099	582,450
為替換算調整勘定	4,324	5,158
その他の包括利益累計額合計	352,424	587,609
少数株主持分	7,038	5,065
純資産合計	8,735,474	9,102,983
負債純資産合計	18,943,097	18,551,274

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	6,807,115	4,116,586
売上原価	5,818,397	3,103,109
売上総利益	988,718	1,013,476
販売費及び一般管理費	565,058	538,758
営業利益	423,659	474,717
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,407	22,614
為替差益	-	129,833
その他	14,626	12,193
営業外収益合計	34,034	164,640
営業外費用		
支払利息	21,615	18,538
支払手数料	9,650	1,911
保険解約損	-	8,129
為替差損	88,945	-
その他	3,031	4,662
営業外費用合計	123,243	33,241
経常利益	334,450	606,117
特別損失		
投資有価証券評価損	11,357	-
固定資産除却損	-	86,034
その他	-	8,012
特別損失合計	11,357	94,046
税金等調整前四半期純利益	323,093	512,070
法人税、住民税及び事業税	144,897	186,370
法人税等調整額	14,547	8,829
法人税等合計	130,349	195,199
少数株主損益調整前四半期純利益	192,743	316,870
少数株主損失 ( )	1,749	2,081
四半期純利益	194,492	318,952

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	192,743	316,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,617	234,351
為替換算調整勘定	10,036	941
その他の包括利益合計	45,580	235,293
四半期包括利益	147,162	552,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,837	554,137
少数株主に係る四半期包括利益	1,675	1,973

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	323,093	512,070
減価償却費	130,099	130,337
貸倒引当金の増減額(は減少)	150	200
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,462	22,301
賞与引当金の増減額(は減少)	3,737	6,848
その他の引当金の増減額(は減少)	7,800	1,510
投資有価証券評価損益(は益)	11,357	-
受取利息及び受取配当金	19,407	22,614
支払利息	21,615	18,538
売上債権の増減額(は増加)	197,192	871,834
たな卸資産の増減額(は増加)	1,819,015	354,276
仕入債務の増減額(は減少)	141,016	76,838
前渡金の増減額(は増加)	-	98,518
前受金の増減額(は減少)	1,917,207	59,512
未払金の増減額(は減少)	46,595	49,624
その他	71,896	76,082
小計	466,191	925,022
利息及び配当金の受取額	19,407	22,614
利息の支払額	21,615	18,538
法人税等の支払額	279,145	174,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,837	754,792
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	5,414	101,813
投資有価証券の取得による支出	2,617	2,693
投資その他の資産の増減額(は増加)	26,409	1,125
その他	24,109	1,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	58,550	106,656
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	300,000	800,000
配当金の支払額	184,346	184,344
その他	961	1,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	485,308	985,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,929	39,087
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	367,950	298,331
現金及び現金同等物の期首残高	1,321,837	1,597,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	953,886	1,298,825

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
流動資産	1,200千円	1,000千円
投資その他の資産	6,660	6,660

2 保証債務

当社が下記の銀行保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
擎邦國際科技工程股份有限公司 (契約履行保証)	210,852千円 (66,950千 ニュー台湾ドル)	擎邦國際科技工程股份有限公司 (契約履行保証) 222,133千円 (66,950千 ニュー台湾ドル)
a consortium of Ishii Iron Works Co., Ltd., China National Nanhai Engineering Co., Ltd. and Shenzhen Sunshine Engineering & Design Co., Ltd. (契約履行保証)	940,100千円 (10,000千 アメリカドル)	IIW Singapore Pte Ltd (契約履行保証等) 159,449千円 (2,050千 シンガポールド ル)
IIW Singapore Pte Ltd (契約履行保証等)	155,287千円 (2,050千 シンガポールド ル)	

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料及び手当	233,726千円	217,035千円
法定福利費	35,841	34,416
賞与引当金繰入額	50,959	48,420
退職給付費用	25,538	27,627
役員退職慰労引当金繰入額	6,000	6,600

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	953,886千円	1,298,825千円
現金及び現金同等物	953,886	1,298,825

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	184,346	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	184,344	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鉄構事業	不動産事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	6,162,071	645,043	6,807,115		6,807,115
セグメント間の 内部売上高又は振替高					
計	6,162,071	645,043	6,807,115		6,807,115
セグメント利益	10,897	411,973	422,871	788	423,659

(注)1.セグメント利益の調整額788千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鉄構事業	不動産事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,518,943	597,643	4,116,586		4,116,586
セグメント間の 内部売上高又は振替高					
計	3,518,943	597,643	4,116,586		4,116,586
セグメント利益	126,053	347,780	473,833	884	474,717

(注)1.セグメント利益の調整額884千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円28銭	8円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	194,492	318,952
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	194,492	318,952
普通株式の期中平均株式数(千株)	36,869	36,867

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社石井鐵工所

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大橋 一生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山本 秀仁 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社石井鐵工所の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社石井鐵工所及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。